



2023年9月20日

同窓会報

<http://www.dosokai.st.keio.ac.jp>

発行 法人慶應義塾大学
理工学部同窓会
〒223-8522
横浜市港北区
日吉3-14-1
TEL 045 (562) 4747
FAX 045 (561) 7594
発行人 落合正行
印刷所 あづま堂印刷(株)

総会・矢上祭・テクノモールのお知らせ

今年は久しぶりに連合三田会当日(10月15日)がリアル開催となり、午後、日吉キャンパスで理工学部同窓会の総会が開催されます。総会の開始時刻は12:30を予定しております。総会後には、管理工学科・栗原聡教授による「生成AIとは何だったのか? ~人とAIが共生する社会について考える~」という特別講演を予定しております。なお、今年度も地方にお住いの塾生の皆様にもご視聴いただけるように動画配信も合わせて予定しております。

また、今年度も9月23日(土・秋分の日)、24日(日)に矢上祭を予定しております。卒業生の方々の参加もお待ちしております。

今年度の慶應テクノモールは、12月15日(金)に東京国際フォーラムでのリアル開催を予定しております。最近の理工学部の研究成果が展示されており、また説明内容も非常にわかりやすくなっています。当日には興味深いイベントも行われることになっておりますので、ぜひお立ち寄りください。

学部長選挙結果



今年は学部長選挙の年です。これまでの学部長選挙は、理工学部教授全員から5名を選ぶ第1次投票、第1次選挙結果の5名から2名に絞る第2回投票、教授会における2名の決選投票を1日で行っていたため、事前投票を認めていませんでした。今回は初めての試みとして、第1回投票を6月28日(水)、第2回投票と教授会投票を7月5日(水)に分けることにより、事前投票ができるように変更となりました。その結果、第1回投票、第2回投票、教授会での投票において、

全て1位を獲得した村上俊之教授が次期学部長に選任されました。これまでの2年間の学部長としての理工学部運営が高く評価されたものと思われます。今回の選挙による村上学部長の任期は、2023年10月1日から2025年9月30日までの2年間となります。

村上教授は、1988年に理工学部電気工学科を卒業し、1990年に理工学研究科修士課程修了、1993年に博士課程を修了し、1993年4月に理工学部電気工学科に助手として任用されています。その後、専任講師、助教授(准教授)を経て、2007年4月より教授(システムデザイン工学科)となっています。村上教授の専門は、ロボティクス・モーションコントロールです。

理工学部同窓会奨学生

2023年度の理工学部同窓会奨学金制度は、例年通り4月に理工学部生を対象に受付を行いました。2022年度の年会費収入のうち785万円と本奨学金への用途指定寄付115万円を活用し、計15名を採用しました。([2023年度 理工学部同窓会奨学金について] <https://www.dosokai.st.keio.ac.jp/scholarship/2023-2/>)

◆本奨学金制度の概要

対象者: 1) 理工学部2年生以上に在籍している者、2) 勉学の意欲を持ち、成績、人物ともに優秀であること、3) 経済的に修学が困難であると認められ、将来成業の見込みがあること 1~2) のすべてを満たしていること

選考方法: 応募者の中から学生総合センター矢上支部長の推薦に基づき、担当常任理事が決定する。

給付金額: 年額60万円

給付期間: 1年間 但し、翌年再申請することができる

支給人数: 12名程度

◆奨学生からのメッセージ

●この度は採用していただきありがとうございました。塾生の一人として社会に存分に還元し、そして慶應義塾と同窓会の皆様に支援してよかったと思ってもらえるように、夢に向かって日々研鑽していきたいと思えます。(機械工学科3年)

●この度は、理工学部同窓会奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。頂いた奨学金のおかげで、経済的な不安を感じることなく研究に打ち込むことができます。研究室生活を通して実践的な研究スキルを身に付けられるように頑張ります。(応用化学科4年)

●このたびは奨学金のご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。大学3年になり実験や専門的な授業を通して、志の高い友人たちと学び、刺激を受けながら勉強に取り組める環境がいかに大切か実感しています。支えてくれている家族や支援してくださる方に感謝しながら、さらに努力していきたいと思えます。(電気工学科3年)

●この度は理工学部同窓会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。父からの養育費が減額され、経済的に困窮していたため、大変感謝しております。今後も将来の夢に向かい、真摯に学業に取り組んでいきたいです。(応用化学科3年)

●この度は奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。奨学金の給付により、経済的な不安なく学業に専念できております。新素材を開発するという目標を叶えるため、今後も勉学に邁進して参ります。(応用化学科2年)

●奨学金にご採用いただき、誠にありがとうございます。今年から研究が始まり、物理の原理を用いて生体現象を解明する喜びを感じております。卒業後は、大学で学んだことを活かし、社会に貢献したいと考えております。(物理情報工学科4年)

●奨学生に採用していただきありがとうございます。私は、大学院を卒業してからメーカーの研究職に就きたいと考えています。母子家庭であり、学費を払えるか心配でしたが、奨学金のおかげで安心して勉強できています。(物理情報工学科3年)

●この度は慶應義塾大学理工学部同窓会とご縁があり、その奨学生として採用していただきありがとうございます。大学院進学に向けてよい研究者となるよう学部生最後の時間を無駄なく有効的に使っていききたいと思います。(物理学科4年)

●この度は奨学金のご支援をいただきまして本当にありがとうございます。学業に専念できるかわからない不安もありましたが、皆様のご寄付により私自身の夢の実現に一つ近づきました。今後もより一層邁進して参ります。(管理工学科3年)

●この度は奨学生にご採用いただきありがとうございます。我が家の家計を鑑みると奨学金なしでは学業に専念するのは不可能だったため、非常に助かりました。金銭面での不安が解消されたため、安心して授業を受けることができています。(数理科学科2年)

●この度は2023年度理工学部同窓会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。皆様のご支援に恥じることはないよう、今後はよ

り一層学業に専念し、充実した大学生活を送りたいと思います。(物理学科2年)

●この度は理工学部同窓会奨学金の奨学生としてご採用いただき、誠にありがとうございます。これからも研究に励み、情報工学を利用して社会に貢献していきたいと考えています。(情報工学科4年)

●この度は理工学部同窓会奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。ご支援くださる皆様のおかげで、日々忙しくも充実した研究生活を送ることができております。今後もより一層精進してまいります。(生命情報学科4年)

●この度は奨学金のご支援をいただき誠にありがとうございます。大学4年間でバイオロジーについて深く学び、将来の夢を叶えられるようより一層勉学に励んでまいります。本当にありがとうございます。(生命情報学科2年)

●この度は奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。この奨学金は、私の学生生活の上で大きな支えとなっており、現在は学業に専念することができています。今後も立派な人物になれるよう励んでまいります。(生命情報学科2年)

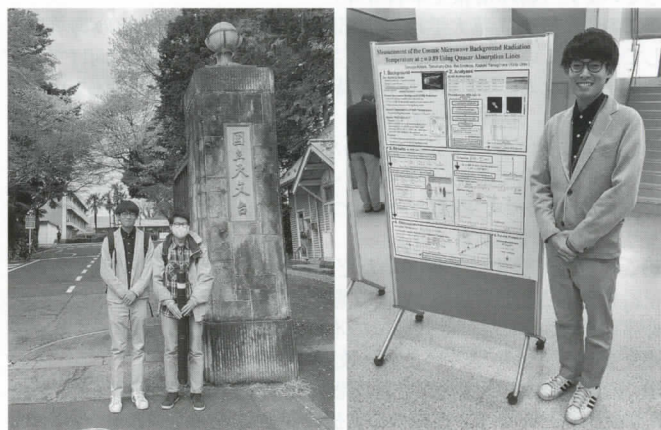
◆奨学生 OB の現在

小谷 竜也 (理工学研究科修士1年)

【2020・2021年度同窓会奨学金採用者】

私は現在、理工学部物理学科の岡研究室に所属し、遠方天体の観測によって宇宙の起源と進化の歴史を探る研究をしています。私の注目する天体は、地球から約100億光年彼方で煌々と光り輝く天体「キューサー PKS1830-211」です。遠方の宇宙からの光が地球に届くまでは時間がかかるため、遠くの宇宙を観るということは、昔の宇宙を観るということに対応します。そのため、キューサーからの光は昔の宇宙の情報を我々に届けてくれます。その意味でキューサーは宇宙の歴史を知るには最適ですが、100億光年も遠くにある天体を観察するためには相当「視力の良い」望遠鏡が必要になります。そこで私が用いたのが、チリのアタカマ高地に建設された世界最高感度の電波望遠鏡であるアタカマリ波サブミリ波干渉計(略称ALMA)です。私はALMAで観測されたアーカイブデータを解析することで、昔の宇宙に満たされていた宇宙背景放射の温度を測定しました。それにより、現在の宇宙が熱い火の玉から始まって断熱膨張し現在に至るという「ビッグバン宇宙モデル」を支持する結果を得ました。

今年の3月末には、国立天文台三鷹キャンパスにて開催された「2022年度宇宙電波懇談会シンポジウム」に参加し、この研究をポスター発表させていただきました。宇宙電波懇談会シンポジウムは、電波天文学の研究者が日本全国から集い、最新の研究成果を共有して今後の電波天文学について検討するシンポジウムです。今年は「2030年代の電波天文学」をテーマに、系内銀河や星形成、遠方銀河、観測装置開発など様々な分野の電波天文学者が集い、意見交換を行いました。私が出展したポスターセッションでも盛んに議論がなされ、多くの研究者の方々から意見や質問もいただきました。今回のポスターセッションを通して、私の研究をより多くの研究者の方に知っていただいたことは勿論、質疑応答を通してこれまで持っていなかった視点や、私自身抱いていた疑問に対するヒントをいただき、非常に有意義な機会であったと実感しております。今後もこの



(左) ポスター発表を行った国立天文台三鷹キャンパス前での写真。

(右) 発表したポスターと私の写真。

ような機会には積極的に参加し、情報発信ならびにインタラクティブなことで、次世代の電波天文学の発展に貢献して参りたい所存でございます。

4月から慶應義塾大学大学院に進学したので、理工学研究科にて研究を一層深化させるべく励んでおります。また、5月には先述のキューサーを自らの手で観測すべく、ALMA望遠鏡に観測提案書(プロポーザル)を提出しました。これにより、観測データを増やし、さらなる精度向上を目指します。

以上が私の現在の学生生活の概略でございます。このように私が研究活動に進進できるのも、ひとえに理工学部同窓会奨学金を通して同窓会の皆様方にご支援いただいた賜物であると日々実感しております。多大なる御支援に心より深く感謝申し上げますと共に、今後も慶應義塾大学理工学部の発展に貢献して参りたい所存でございます。

甚だ未熟者ではございますが、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

◆理工学部同窓会奨学金への 用途指定寄付について

皆様の後輩である理工学部現役生を支援するため、卒業生から慶應義塾に直接寄付する、「理工学部同窓会奨学金への用途指定寄付」にご協力をお願いします。この寄付は、採用者増員のための非常に重要な資金源となります。一人でも多くの会員に参加・協力いただくことに意義がありますので、金額は問いません。会員相互の連携を強め、支援の輪を広げていただければ幸いです。

2022年度にいただいた寄付総額は、過去最高金額となる115万円を記録しました。寄付をしてくださった会員からは、「ようやく100万円を越えましたこと、誠に嬉しく思います。2023年は200万円を目標にしましょう!」、「支援の心が先輩から後輩へと引き継がれ、同窓会全体で一つの輪となり、次の世代へとうまく回っていくことを願っています」とのメッセージをいただきました。心より感謝申し上げます。



https://www.dosokai.st.keio.ac.jp/scholarship/scholarship_05/
同窓会奨学金への寄付の方法について

矢上賞受賞者

今年度の矢上賞受賞者として次の3名の方々が選出されました。

浅田 宏平

ソニー株式会社 技術開発研究所 コンテンツ技術研究開発部門
空間音響技術開発部 統括部長 1991年 理工・計測工学科卒業、
1993年 理工・計測工学専攻修士課程修了

<受賞理由>

世界初のデジタル方式 ノイズキャンセリングヘッドホンの開発 / 製品化 ~ 同技術のオーディオ産業への発展貢献、社会問題の解決

井上 裕美

日本アイ・ビー・エム株式会社 取締役執行役員、日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社 代表取締役社長
2003年 理工・物理情報工学科卒業

<受賞理由>

社会のデジタル変革を実現する会社をリードし、その経験と知見を活かしながら、共創による地域創生とデジタル人材の育成に貢献

後藤 稔

福井大学 工学系部門工学領域電気電子工学講座 准教授
2009年 理工・物理学科卒業、2011年 理工・基礎理工学専攻修士課程修了、2015年 理工・基礎理工学専攻博士課程修了

<受賞理由>

世界最高のマイクロ波検波感度を実現する新奇マイクロ波機能の開発に貢献

また、今年度の矢上賞（起業支援）の受賞者として次の5名の方々が選出されました。

竹内 一生

株式会社アプステック 代表取締役 CEO、2018年 理工・総合デザイン工学専攻博士課程修了

<起業歴等>

人工知能技術「バイラテラル AI」による、ロボットや機械が活躍するものづくり分野や医療・福祉などの分野への社会実装を目指す

西岡 英朗

3D Architech 共同創業者、2015年 理工・管理工学科卒業

<起業歴等>

金属 3D プリンティング技術の商業化を目指す

前川 駿人

Global Vascular 株式会社 代表取締役 COO、2014年 理工・機械工学科卒業、2016年 理工・開放環境科学専攻修士課程修了、2019年 理工・開放環境科学専攻博士課程修了

<起業歴等>

「膝下以下の動脈硬化症に対するステントデリバリーシステム」の設計開発プロジェクトを統括し、設計開発および実現のための製造体制の構築に取り組む。医療現場における問題点・ニーズに対し工学や産業の視点から様々な解決策を提示。同プロジェクトの実用化を加速するため Global Vascular 株式会社を創設

尾藤 健太

Global Vascular 株式会社 代表取締役 CEO、2014年 理工・機械工学科卒業、2016年 理工・開放環境科学専攻修士課程修了、2019年 理工・開放環境科学専攻博士課程修了

<起業歴等>

同上

小茂鳥 雅史

株式会社 We& 代表取締役、2009年 理工・システムデザイン工学科卒業、2011年 理工・開放環境科学専攻修士課程修了

<起業歴等>

ホールディングスとして経営する「We&Family」は英会話教室・WEB マーケティング・不動産など多岐にわたる会社を起業・経営している。その中の一つ、AI 解析・IT 企業とのネットワークを活かしデジタル化を進めたい不動産業者へのサービスを提供する株式会社 ExecutiveBank (IEDIA) を 2021 年に起業

矢上キャンパスのセキュリティ強化

卒業後に矢上キャンパスに入構した経験はありますでしょうか。以前は、日曜祝日にキャンパスに入構する場合には、教員を通しての申請が必要でしたが、研究棟の扉は施錠されていない状況でした。今年からこの状況が大きく変わり、最近では、日曜日だけでなく、土曜日や夜間の時間帯もオートロックされます。教職員および学生の ID カードがないと解錠することができなくなりました。どの研究室でも重要なデータを扱っているの、これまでセキュリティ面に問題があったことがむしろ不思議な状況でした。

塾員で現役の教員と連絡を取って矢上の構内でのミーティングなどを行うことがありましたら、このセキュリティのことを思い出してください。事前の打ち合わせをしっかりとっておかないと、ミーティングの場所にたどり着くこともできません。

日吉キャンパスのゲートの開放

コロナ禍の影響で、日吉駅から矢上キャンパスに来るアクセスルートが制限されていました。以前の同窓会報でも通行制限のゲートができたことをお知らせいたしましたが、ようやくそのゲートが開放されました。

ゲートの開放前は、日吉駅から矢上キャンパスに来るためには、綱島街道沿いの道を進み、馬術部の馬場の横を通って矢上に来るといったのが一般的でした。ゲートが開放されたことで、日吉キャンパス第4校舎前の中庭を通り、急な坂を下りて矢上に向かうバイパス経路が使えるようになりました。綱島街道沿いの道を利用するよりも若干早く矢上に来ることができます。わずかなことですが、コロナがだんだんとおさまってきているというを実感できるゲート開放です。ただ、教職員・学生ともに綱島街道ルートに慣れてしまったためか、日吉キャンパスの山越えルートを通る人の数は、以前ほど多くないように思います。

支部だより

関西支部

関西支部では、令和5年3月11日土曜日に、大阪新阪急ホテルにて総会・懇親会を開催しました。コロナ禍に見舞われ、開催自体の可否や開催方法の選定など、多くの審議・懸念を経て晴れて開催することができました。

開催はなんと4年ぶりの開催ということもあり、失われた運営ノウハウの回復、関西支部役員承継の問題など、開催までにはたくさんの方にご協力とご指導を賜りました。この場を借りて御礼申し上げます。

ご来賓として同窓会会長 落合正行様、理工学部長 村上俊之様、同窓会副会長 朝倉浩一様、理工学部事務長 小塚喜之様、同窓会事務局 山形美弥子様にご多忙の中、リアルでご参加頂くと共に、久しぶりの懇親会に総勢84名の参加を頂きました。

今年から役員を一新し、鈴木支部長、森副支部長、中尾副支部長、小川副支部長に加え、幹事長の私が新しく任に当たります。これのお披露目とご挨拶を考えていたのですが、なんと当日に、新鈴木支部長自身がコロナ陽性で欠席というアクシデントから始まることになりました。鈴木支部長が参加できなかったことは非常に残念ではありますが、発症が一日ズレていたなら、もっと皆様にご迷惑をおかけしていたであろうことを考えると、まさに『不幸中の幸い』であったと思います。

懇親会では恒例の福引会で、塾員ゆかりの健康食品、梅干し、日本酒、ワインなどが配られ、盛り上がりそのまま閉会を迎えました。景品をご提供いただいた皆様、誠にありがとうございました。

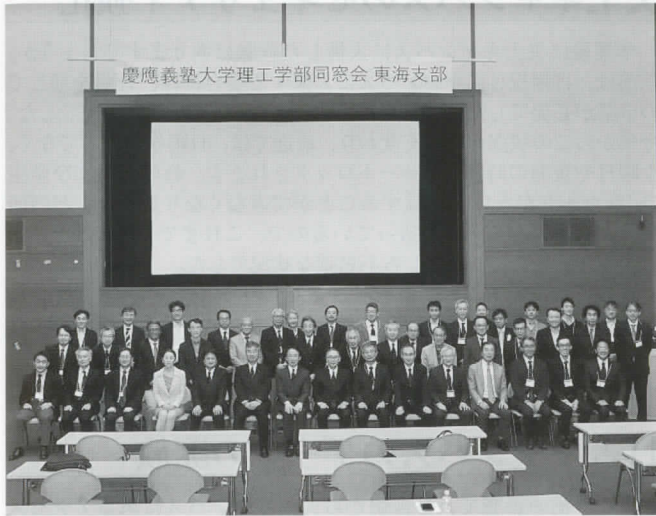
今後は、懇話会の復活、テニス同好会の継続、ゴルフ会の再調整など、『女性と若手が活躍する関西支部』を目標に新体制の下、さらに活動していきたいと考えています。活動の状況はSNSなどを通じて広く公開していきますので、皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。公式インスタグラムも、是非、フォローをお願いいたします。



永田元昭 (57期電気)

東海支部

2023年3月に東海支部総会をトヨタ産業技術記念館で開催しました。4年ぶりの対面開催です。至近3年間は「コロナ禍でできることをやろう」を合言葉に、「3支部合同オンライン同窓会」や「オンライン講演会」を企画・運営しましたが、やはり対面は特別です。久しぶりの再会に、各所で会話が弾みました。コロナ対策として、



マスク着用、アルコールなし（お弁当を黙食）の制限がありました。とても楽しく忘れられない総会となりました。また終了後に、皆でトヨタ産業技術記念館を見学しました。

総会をもって、鈴木前支部長から鍋田新支部長へバトンタッチされました。新支部長の下、4年ぶりの見学会や懇親を含めた総会を企画していきます。

東海支部のWEBサイト (<http://www.k-tohkai.com>) or (慶應理工 東海支部) で検索) に情報を掲載していきますので、ぜひご覧ください。

東海支部事務局 中部電力 橋爪雅人 (99年卒)

西日本支部

3月12日(日)に、2019年以来4年ぶりに、支部設立30周年の記念総会を対面で開催しました。新型コロナウイルスの感染懸念が完全には払拭できない環境下ではありましたが、同窓会本部からは落合同窓会長、村上理工学部長・同窓会名誉会長はじめ5名の先生方にお越し頂き、支部会員もコロナ禍前とほぼ変わらない多数の皆様にご参加頂き、感染対策を取りつつも盛大に開催することができました。

総会では、落合同窓会長からコロナ禍での同窓会本部の活動状況と活動計画についてのお話と支部活動への激励のお言葉を頂戴し、村上理工学部長からはコロナ禍でも着実に進化している大学の近況についてのご報告と将来の志向についてのお話を頂きました。役員改選では昨年までのメンバーが引き続き担当することが決議されました。

講演会では、慶應義塾大学経済学部ご卒業でジャーナリストの手嶋龍一様より『混沌とした世界情勢をインテリジェンスから読み解く』と題してロシア・ウクライナ情勢と中国・台湾情勢に関して普段報道されない中国の思惑などを加味したインテリジェンスな情勢の読み解きと読み解き方についてのご講話をいただき、非常に興味深いものでありました。

その後の懇親会では、福岡三田会の竹島会長、北九州三田会の金田会長よりご挨拶を頂き、続く歓談の時間では新役員や同窓会新人の挨拶などを交えて歓談やまなない状態となりました。若き血・エールで会を終了し、対面開催ならではの盛りだくさんの内容で非常に充実した有意義な会となりました。

今年度も、昨年に引き続き若手の会や中間イベントの開催を計画しており、来年の3月10日(日)に開催予定の支部総会に向けて役員・幹事一同しっかりと準備を行って参りますので、皆様のご参加をお願い致します。

(機械49期 永山和弘)

伝言板

● 機械工学科 (昭和29年卒) ●

卒業して70年近く、小金井時代の学習内容はかなり変貌しているだろう。しかし基本的な学問は変わらない筈だ。これが我々世代の人生の支えになって来たと思う。加齢が進むと体力が低下、何事も面倒になる。しかし健康維持には常に積極的である事が大切。小生は、朝晩の体操、週日はゴルフ練習1時間半、を続けている。92歳で、程ヶ谷ゴルフクラブ競技でエイジシュートを2回達成した。

(松尾芳郎)

● 応用化学科 (昭和31年卒) ●

卒寿を迎え、最後のクラス会を昨年11月 横浜陽軒本店にて開催、参加者10名 まず物故諸兄に黙とうを捧げ、心を込めて塾歌を斉唱してスタート。コロナで3年延期したが、遠路新居浜から飯島くんの参加もあり、久しぶりに楽しい会でした。今後は、有志で時々集まることとした。

(柴田幸次郎)

● 応用化学科 (昭和35年卒) ●

永年続いていた応化35年卒珊瑚会は、高齢化とコロナ禍の中断もあり、持ち回りの幹事制度が機能なくなり総意を以て残念ながら解散となりました。然し最後の解散総会をやりたいと言う有志が、本年5月19日に日吉ファカルティラウンジに集まりました。当日は病後を押して、また脚や目、耳が悪くなった方、また関西から駆けつけた方など写真の総勢13人の出席となりました。久しぶりの再会を懐かしみ、現状報告や今後の過ごし方などを語り、最後に白井さんのハーモニカ伴奏で「若き血」と「塾歌」で閉めました。珊瑚会総会はなくなりましたが囲碁珊瑚会や他の会もあり、今後の情報伝達の手段は残っております。参加できなかった方々もどうか元気に楽しい時間をお過ごしください。

尚 これまでの総会の残預金は理工学部同窓会奨学金宛に献金致しました。



(石井 白井 齊藤 吉川)

● 計測工学科 (昭和36年卒) ●

同期の一人が会長の「自然科学に親しむ会」が実験と工作に依って子供達に自然科学の面白さや不思議さを感じさせ、将来、理系に進む人を増やす為の活動を長年行っている。この活動に参加して頂ける方を募集している。今年は会長が地元の小学校三校の5年生を対象にした理科教室を各校で開催する迄になった。受講生は約250名になる。(堀口俊一郎)

● 応用化学科 (昭和37年卒) ●

1962年 応用化学科卒業生の同期会開催案内
コロナ禍で3年間中断していた同期会ですが、今年は次の通りに開催致します。

期日：11月4日

場所：交詢社

尚、正式な同期会は今年で終わりにしようという意見があり、現在検討中です。

同期会幹事 藤井研 (代表者 景平恵雄)

(E-mail address : n.kagehira@mx-keio.net)

(Tel : 03-3331-2647)

(加々爪勇)

● 管理工学科 (昭和39年卒) ●

コロナにより延期されていましたがクラス会を4年ぶりに以下のように開催いたしますので、ご参集お願いいたします。詳細はメールにてご連絡いたします。

開催日：2023年10月6日(金) 正午より

開催場所：アリスアクアガーデン田町

JR 田町駅傍 田町センタービル ピアタ 3F

03-5427-5535

幹事役：関根研・師岡研 幹事代表 若山邦紘

連絡幹事 松木顯一

(松木顯一)

● 電気工学科 (昭和42年卒) ●

本年2月25日、3年ぶりに帝国ホテル三田倶楽部で電気科25期同期会(23名出席)を、6月30日に三田キャンパス・ファカルティクラブで小沢慎治君瑞宝中経章お祝い会(18名出席)を開催しました。今年より恒例の12月第1週金曜日開催の同期会を再開予定です。詳細は別途連絡いたします。(豊田博之)

● 応用化学科 (昭和42年卒) ●

私たち応化25期生は『100/4』の愛称のもと、卒業以来ずっと同期生の友情・信頼を育み続けています。先日6月24日に4年ぶりに恒例の新橋亭でクラス会を開催しました。25名の仲間が集い、各自の近況報告をはじめ、楽しい歓談の時間を共有しました。「若き血」の斉唱に酔い、来年6月第4土曜日(23日)の再会を期してお開きとなりました。(小山内州一 osanai@applic.keio.ac.jp)

● 管理工学科 (昭和42年卒) ●

管理工学科 S42年卒各位

長いコロナのトンネルをほぼ超えることが出来たようです。さて

今年はパーティー形式(対面)の同期会を開催します。高橋研の安平次君が幹事代表として準備をしています。

開催日：10月21日(土)の12時から

場所：三笠会館 銀座本店 中央区銀座5-5-17

皆様、予定の確保をお願いします。

詳細は別途各研究室の幹事から8月ごろ連絡がありますが、奮ってご参加下さい。

連絡先：金井一成 03-3262-2998

(金井一成)

● 電気工学科 (昭和45年卒) ●

延び延びになっていた同期会を4月に新橋の新橋亭で開催致しました。約110名の同期の中で90名にお誘いメールを発信。約60名から返事を頂き、当日は28名が参加。各自の自己紹介から、皆さま今なお積極的(?)な生活態度が窺えました。次回は来年9月です。



(和田治)

● 電気工学科 (昭和47年卒) ●

恒例になりましたクラス会ですが、コロナ禍のために3年間中止していました。今年は何とか開催できそうなのでスケジュールをお知らせします。久しぶりの開催です。できるだけ多くの方にご参加いただければ幸いです。

日時 10月12日(木) 5時より

場所 原宿 南国酒家 本館

会費 10,000円

(山田洋子)

wyamada@mvg.biglobe.ne.jp

● 全学科 (昭和49年卒) ●

我々が卒50年を迎える来年(2024年)春には、塾から入学式に招待されます。招待状は郵送です。住所や氏名等に変更が生じた場合には、塾員センターに届けておいてください。

住所等変更届 <http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/>

同期会の活動は卒50年行事の案内も含め、メーリングリストとWebページでお知らせします。メールアドレスを同期会に登録して、再会しましょう。Webページは「慶応工学部1974」で検索できます。問合せは、KeioEng32@gmail.comまで。

(落合正行外1974年卒同期会世話人一同)

● 全学科 (昭和52年卒) ●

10月15日(日)に連合三田会があります。その時に118三田会(工学部35期)でたまり場を用意します。日吉4号館19番教室を予定。11時30分ごろから集合すると思います。お時間あれば是非ご参加ください。(連絡代表者 中村直、1977機械工学科卒)

● 全学科 (昭和57年卒) ●

みなさん「全学科同期会」のお知らせです！世の中はいろいろ、みなさんいろいろあったことでしょう。いろいろを超えて、のびのびになっていた全学科同期会を開きます。私たちは123三田会なので、今年12月3日(日)午後15時に日吉で開催します。メール告知も始めますが、連絡先不明の同期も多く、みなさんからの情報拡散、是非お願いします。URL入力お手数かけますが、下記より出欠登録をお願いします！

<https://forms.gle/5nYtqorHcFFzgsf68>



(全学科代表幹事 A 科 中間真一 kanji@keio123.org)

● 計測工学科 (昭和 57 年卒) ●

同期の皆様お元気ですか。コロナ禍で対面の会合ができない状況が続いていましたが、多くのイベントが対面開催になってきました。そこで、久しぶりに全学科の学年同窓会を開催しようという話ですが、幹事団の中から起こっています。同窓会報が配布される頃には、幹事長の中間君（管理工学科）から連絡があると思います。

(田中敏幸)

● 全学科 (昭和 58 年卒) ●

皆様、お元気ですか。今年は学部卒業 40 周年にあたり、10 月 15 日（日）に日吉で開催する連合三田会大会で全学科合同の同窓会を開催します。当日は、日吉の 4 号館に集合場所の教室を手配していますので、皆様ご友人の方とお誘い合わせの上、お集まり下さい。幹事一同、皆様とお会いするのを楽しみにしています。

連絡代表者：古山輝夫（M 科）

● 応用化学科 (昭和 58 年卒) ●

今年は卒業 40 周年の節目の年です。M 科の古山代表幹事を中心

に 10/15（日）の連合三田会に合わせて、理工学部同期会が開催されます。詳細については追って、御連絡します。残念ながら小生は当日不在で、代わりに渡辺祥二郎君が幹事を引受けてくれました。一方、先日有志で、小田切初枝さん・松野和博君のお墓参りをさせて頂きました。合掌。

(田中巧)

● 計測工学科 (昭和 59 年卒) ●

計測工学科 42 期でメールアドレスに登録していた人でメールの連絡がつかなくなった。下記の方、メールアドレスを再登録したいと思います。淵までメールください。できれば、会社アドレスではなく個人アドレスをお願いします。当然：登録しなかった人も連絡いただければ登録します。

阿部浩様 阿部功様 今村様 岩崎様 尾島様 沖様 片桐様
金子様 川喜田様 小檜山様 佐野様 清水康弘様 園部様
田村猛郎様 中濱様 中山様 植木様 長谷川様 馬場様
平野様 三浦様 宮崎忠一様 矢鳥様 山口様 吉田様
竹多様 田中靖士様

● 化学科 (平成 3 年卒) ●

化学科 7 期の皆様、こんにちは。昨年、この紙面で予告した通り、令和 7 年 7 月に同期会を行います。コロナもだいぶ収まり、研究室やごく親しい同士等、小さな単位での集まりは始まっているのではないかと思いますのでそういう機会に口コミで広げていただけると嬉しいです。リクエスト等あれば、yoko@ab.mbn.or.jp へ！

(園田陽子)

● 管理工学科 (平成 6 年卒) ●

同窓会員の皆様、ご安全に！ご健康に！豪雨、地震をはじめとする自然災害が身近に起きるようになり、防災・減災がとても大切であることを感じます。事業継続計画・マネジメントに関わっておりますが、いざ、家庭を振り返ってみると、備えが甘いことを反省しております。皆様も気を付けてお過ごしください。そして、有事の際には、お互いに助け合いましょう。

(高桑力也)

takakuwa@MX-keio.net, takakuwa@1994.jukuin.keio.ac.jp

慶應技術士会からのお知らせ

6 月 17 日に第 15 回慶應技術士会総会を矢上キャンパス創想館フォーラムと WEB (ZOOM) 併用で開催し、会長として、蔭山 照文氏 (1975 年工学部 機械工学科卒業)、副会長として、長澤英治氏 (1986 年工学部 機械工学科卒業、1988 年工学部 機械工学修士課程終了) の選出が承認され、就任しました。2009 年に設立し、毎年新規の会員のご参加をいただき、会員が 196 名 (内賛助会員 4 名) の組織に成長しました。

現在 36 校、オブザーバー参加 1 校がそれぞれの大学技術士会を組織し、大学技術士連絡協議会に加盟し、学校との連携、社会貢献、技術士制度の拡充と発展のため情報共有を図っています。各加盟校も会員の講演、講義、在校生との対話会等の活動を行なっています。

慶應技術士会も、学校のご配慮、会員のご協力をいただき理工学部での特別講義、JABEE (技術者教育プログラム) 修了生との対話会 (コロナにより中断中)、機械工学科学位授与式での当会の紹介、科学技術振興機構 (JST) が毎年実施するサイエンスアゴラへの応募と参加、地方自治体や企業が運営する科学技術館での科学工作教室を開催しています。

Web を活用し、多くの会員の参加も可能にして、相談会、情報交換会、勉強会、会員ご家族にも参加いただけるような見学会の開催、科学工作教室の開催により子供達に科学技術への関心を持ってもらい、科学の不思議さ、物づくりの面白さ、楽しさを実感してもらえ、活動を計画し、広い分野で活躍する会員の知識と情報をもとに慶應技術士会を発展させることができる運営を目指しています。

技術士、技術士補、JABEE 修了の塾員の慶應技術士会の活動へのご参加をお待ちしています。興味のある方、当会ホームページよりご連絡ください。

当会ホームページは (URL : <http://keiope.org/>)

入会をご希望の方は、ホームページから入会申し込みできます。

また、会員宛メールの不達が確認されていますので、登録メールアドレスを変更した会員の皆様は、アドレス変更 (確認を含む) をお願い致します。



慶應技術士会事務局

数理科学科 50 周年

数理科学科は来春、1974 年の数理工学設立から 50 年という大きな節目を迎えます。学科が歩んだ半世紀を振り返るとともに新時代を展望するため、2024 年 3 月 9 日（土）に数理科学科 50 年記念同窓会を開催すべく準備を始めました。詳細は追ってホームページ（<http://www.math.keio.ac.jp/>）などでアナウンスいたします。

数理科学科は直近の 10 年ほどの間に KiPAS（慶應義塾基礎科学・基盤工学インスティテュート）の主任研究員を複数輩出してきた他、理化学研究所 AIP（革新知能統合研究センター）との連携、大阪大学大学院理学研究科数学専攻との連携など学内外の様々な機関との研究交流を通じ、基礎科学の深化から最先端技術への応用にまで及ぶ幅広い活動を展開しています。また、OLIS 生命保険寄附講座など数理科学科は学生のキャリアパス支援事業にも力を入れています。

卒業生の皆様をはじめ数理科学科に籍を置かれた多くの方々との旧交を温め、学科のさらなる発展を期するため、数理科学科 50 年記念同窓会が少しでもお役に立つことができれば幸いです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

数理科学科 50 年記念同窓会実行委員会

矢上に生息する動物たち

塾員の皆様、最近、矢上を訪れたことがありますでしょうか。2000 年ごろから矢上キャンパスにはいくつかの新しい建物が建設されています。それと同時に、矢上キャンパスに生息していた動物たちがかなり少なくなりました。建設が終わり、少し時間がたったこともあり、矢上キャンパス内に動物たちが戻ってきています。5 月ごろにはウグイスの鳴き声が聞こえ、夜には狸の親子が目撃されるようになりました。ウグイスはくすんだ色をしており、自然の中で目立たない状況です。また、狸は夜行性で警戒心が強いので、写真に写すことが難しい状況です。ここでは動物たちの写真を掲載することはできませんが、ぜひ矢上キャンパスに来て、動物たちを探してみてください。

理工学部少林寺拳法部 50 周年記念

1. 慶應義塾理工学部少林寺拳法部 50 周年
2. 日時：2023 年 12 月 2 日（土）16 時から 19 時
3. 場所：日吉 ファカルティラウンジ
4. 連絡先 淵（1984 年計測工学科卒）
masahiko.fuchi@gmail.com
メールで連絡が来なかった方は、ぜひ淵に連絡ください。

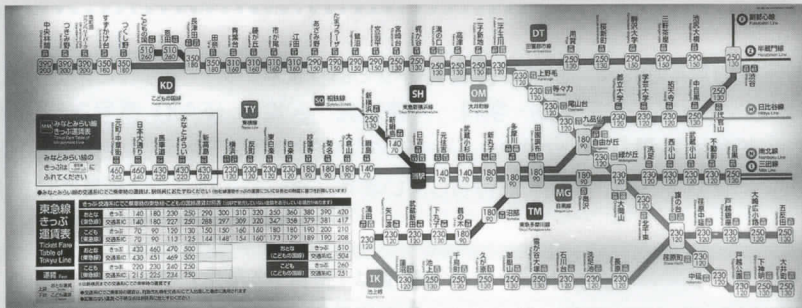
T
O
P
I
C
S

新しいセブンイレブンと改修されたデイリー

矢上キャンパスの坂を下ったところにチロル幼稚園があります。そのすぐ隣に新たにセブンイレブンがオープンしました。矢上キャンパス内のセブンイレブンではアルコール類は販売されていませんが、新しいセブンイレブンは校外なのでアルコール類も販売されているようです。休日は矢上キャンパス内のお店は閉店するので、新しい店のオープンは休日にも研究室に来る人たちにとっては、まさにコンビニエンスな店舗です。また、以前から矢上の丘の下にあったデイリーヤマザキが改修され、利便性がよくなりました。



東急新横浜線開業



2023 年 3 月 18 日に東急新横浜線が開業しました。東急新横浜線は、相鉄新横浜線と新横浜駅で接続しています。日吉から二駅目が新横浜駅となり、日吉新横浜間が 5 分程度で結ばれています。日吉から東海道新幹線へのアクセスがよくなっただけでなく、慶應義塾の湘南藤沢キャンパスへの移動も便利になりました。この路線の開業により、慶應の各キャンパスが一つの路線でつながるようになりました。その代わりとして、東急の運賃が少し高くなりました（写真）。

訃報：内田勲元同窓会会長

理工学部同窓会の元会長で、最高顧問をされていた内田勲氏（電気工学科 18 期）がご逝去されました。思い返せば 2014 年の理工学部創立 75 周年記念事業における総額 10 億円の募金、理工学部同窓会奨学金の設立など、同窓会のために多くのご尽力をいただきました。極めて巧みな話術の持ち主で、プライベートでの会話では気さくに、打ち合わせでは話し合いがうまくまとまるように、イベントで聴衆を前にした時には会場に呼びかけるように、それぞれの話し方にメリハリをつけているのがはつきりとわかりました。また、話の展開も非常に面白く、聞く人が引き込まれるような内容でした。大きな組織をまとめていくためには、どのようにしなければならぬかということを学ばせていただきました。今後は、次の世代が同窓会を作り上げていくこととなります。ご冥福をお祈り申し上げます。



会計報告 令和4年度収支実績予算対比表

(令和4年4月1日～令和5年3月31日) (単位:円)

科目	予算額	決算額	予算差異 (決算 - 予算)
I 事業活動収入	36,500,000	36,500,000	0
1 会費収入	36,500,000	36,500,000	0
2 寄付金収入	0	0	0
II 雑収入	640,000	698,681	58,681
1 受取利息	0	851	851
2 頒布品販売収入	20,000	97,830	77,830
3 連合三田会大会 大会券販売収入	600,000	600,000	0
4 その他	20,000	0	▲ 20,000
5 名簿 Web システム 積立金取崩収入	0	0	0
【収入合計】	37,140,000	37,198,681	58,681
I 事業活動支出	23,193,000	20,712,381	▲ 2,480,619
1 名簿関係費	7,400,000	6,421,922	▲ 978,078
2 会報関係費	4,450,000	3,870,907	▲ 579,093
3 奨学金事業	8,371,000	8,370,550	▲ 450
4 総会関係費	1,602,000	931,540	▲ 670,460
5 幹事会関係費	20,000	10,372	▲ 9,628
6 支部関係費	1,350,000	1,107,090	▲ 242,910
7 頒布品作成費	0	0	0
8 記念事業関連 (ホームカミングデー)	0	0	0
II 管理費支出	8,947,000	6,914,400	▲ 2,032,600
1 会費管理費	2,850,000	2,107,096	▲ 742,904
2 事務局関係費	5,011,000	4,807,304	▲ 203,696
3 予備費	1,086,000	0	▲ 1,086,000
III 奨学金事業積立支出	4,000,000	4,000,000	0
IV 名簿システムサーバー 入替積立金支出	1,000,000	1,000,000	0
V 基本財産繰入支出	0	0	0
【支出合計】	37,140,000	32,626,781	▲ 4,513,219
当期収支差額	0	4,571,900	4,571,900

令和5年度予算

科目	予算額
I 事業活動収入	36,500,000
1 会費収入	36,500,000
2 寄付金収入	0
II 雑収入	700,000
1 受取利息	0
2 頒布品販売収入	100,000
3 連合三田会大会 大会券販売収入	600,000
4 その他	0
5 名簿 Web システム 積立金取崩収入	11,000,000
【収入合計】	48,200,000
I 事業活動支出	35,042,600
1 名簿関係費	17,416,600
2 会報関係費	5,640,000
3 奨学金事業	7,851,000
4 総会関係費	1,602,000
5 幹事会関係費	20,000
6 支部関係費	1,243,000
7 頒布品作成費	240,000
8 記念事業関連 (ホームカミングデー)	1,030,000
II 管理費支出	9,157,400
1 会費管理費	2,850,000
2 事務局関係費	5,266,600
3 予備費	1,040,800
III 奨学金事業積立支出	4,000,000
IV 名簿システムサーバー 入替積立金支出	0
V 基本財産繰入支出	0
【支出合計】	48,200,000
当期収支差額	0

● 原稿募集のお知らせ

編集委員会では、広く同窓生の皆様の声をお寄せいただきたく、原稿の募集を行っております。テーマは特に限定いたしません。「会報原稿」投稿と表記し、①タイトル ②氏名 ③卒業期・学科 ④連絡先 ⑤電話 (FAX) 番号あるいは Email アドレス を明記して原稿をお送り下さい。投稿は郵便、ファックス、メールいずれでも結構です。投稿された原稿はお返しいたしません。また、採否は編集委員会にお任せ下さい。投稿をお待ちしています。(編集委員会)

名簿情報・登録内容の確認は『慶應オンライン』で



<https://www.jukuin.keio.ac.jp/kol/html/login/Login.html>

訃報・住所等変更は『塾員 (卒業生) ホームページ』へ



<http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/index.html>

編集後記

ご存じのように、慶應義塾高校野球部が甲子園大会で107年ぶりに優勝しました。私も甲子園球場に行き、決勝戦の応援をしてきました。最後まで目の離せない素晴らしい試合でした。107年前はまだ中等学校優勝野球大会であり、慶應普通部が関東代表として出場しました。また、開催地も甲子園ではなく豊中球場でした。甲子園球場での大会になってからは今回が初めての優勝となります。

同窓会報では卒業された皆様にとって興味のある最新の理工学部情報を知っていただこうと考えております。記事として掲載して欲しいとお考えのことをごございましたらご遠慮なくご連絡下さい。編集委員会にて検討の上、可能なものは掲載したいと考えております。また、会報に対するご意見やご要望などございましたらご遠慮なくお申し出下さい。 田中敏幸 (40期計測)